

平成25年度報告書

- ・事業報告及び附属明細書
- ・貸借対照表
- ・損益計算書(正味財産増減計算書)
- ・損益計算書(正味財産増減計算書)内訳表
- ・財務諸表に対する注記
- ・貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書
- ・予算対比損益計算書(正味財産増減計算書)
(参考資料)
- ・財産目録(参考資料)
- ・監査報告

平成25年度 事業報告

《 概 況 》

平成25年度、予防医学振興事業、福祉事業、音楽文化振興事業の三つの事業分野で、引き続き多岐に亘る事業を実施しました。

予防医学振興事業においては、住友生命総合健診システムにおいて、聴力障害者や介護家族の会員向けの優遇健診を含め、多数の方々に生活習慣病予防健診(人間ドック)を実施しました。平成25年度の受診者数は昨年度に比べ64名増えて、22,659名となりました。住友生命総合健診システムでは、高度な健診内容を安全で快適に提供するとともに、受診者の健康管理を支援する各種の取組を行いました。また、その運営を通じて得られた知見については、学会等で積極的に発表を行なっています。

助成事業としては、生活習慣病等の先端医療分野の研究を行う12大学・15名の若手研究者に海外医学研究助成金を、へき地等で長期にわたり地域医療に多大な貢献をされている6名の医師に地域医療貢献奨励賞を贈呈しました。

福祉事業においては、23年目を迎えた「スミセイさわやか介護セミナー」をはじめ、介護セミナー(ケアする人のケアセミナー、遠距離介護セミナー)を開催しました。また、コミュニティケア活動支援センターを通じて「自殺のない社会づくり活動」と「高齢者支援活動」を支援しました。子どもの健全育成を願って、児童館を舞台に子どもと多分野NPOの出会い創出を支援する「子どものためのNPOとの協働事業」、次代を担う好奇心旺盛な子どもの育成を支援し、自然環境学習につなげる「子どもエコ俳句大賞」を実施しました。

音楽文化振興事業においては、これまで1年ごとにテーマを設定していました年間企画を、初めて3年間のシリーズとして企画しました。平成25年度から平成27年度まで、「モーツァルト～未来へ飛翔する精神」と題し、モーツァルトの20歳から35歳で亡くなるまでの15年間を5年毎に区切り、時代を追って彼の名曲を味わっていただくというものです。バッハ・アルヒーフ・ライブツィヒとの提携により7年かけて行う「バッハ・オルガン作品全曲演奏会」も2年目を迎えました。

若年層のクラシック音楽ファンの育成・獲得に向けた取組としてユースシートを継続し、また大阪市音楽団と提携した音楽鑑賞会では大阪市の小学生約5,000人がいずみホールを訪れました。障害者等をコンサートに招待する「いずみホール夢コンサート」は11回目を迎えました。

各分野、個別事業の取組内容については次のとおりです。

I 予防医学振興事業

1. 生活習慣病予防健診(住友生命総合健診システム)

予防医学の観点から、生活習慣病の早期発見および健康管理に資する住友生命総合健診システムは、設備の充実、きめ細かい受診者対応と相俟って、引き続き多数の方々に受診いただきました。

平成25年度、総合健診受診者数は22,659名、1日あたり平均89名(前年度22,595名、88名)となり、受診者数が64名増加しました。また、初めてご利用いただいた受診者も3,241名(前年度3,040名)と201名増加しました。

また、実施6年目を迎えた特定健診・特定保健指導の年間対象者は、8,500名にのぼっています。

【住友生命総合健診システムの受診状況】

	総合健診		特定健診・特定保健指導			
	対象者(うち初回受診者)	割合	対象者	当日面談	後日面談	情報提供
男性	12,844 (1,686)	57%	5,270	1,879	451	2,940
女性	9,815 (1,555)	43%	3,230	1,189	362	1,679
合計	22,659 (3,241)	100%	8,500	3,068	813	4,619

住友生命総合健診システムでは、高度な健診内容を安全で快適に提供するとともに、受診者の健康管理を支援する各種の取組を行いました。5月にX線ヘリカルCTの機器更新、11月には経鼻の上部消化管内視鏡(胃カメラ)のブース拡充等、計画的に設備、施設の更新を行いました。また、日本総合健診医学会認定優良施設の更新認定を受ける等、健診施設、健診内容の品質向上に継続して取り組みました。

また、16年目を迎えた聴力障害者無料健康診断を平成26年2月8日に実施、平成21年度から実施している大阪府下の介護家族の会会員への総合健診受診優遇を継続し、健康管理が疎かになりがちな層への健診サービスの提供に努めました。

主な取組事項はつぎのとおりです。

マンモグラフィとエコー併用の乳癌検査を本格導入	週2日(火曜日・木曜日)実施していたマンモグラフィとエコーの併用検診を平成25年4月より週5日(月曜日から金曜日)に拡大し、乳癌検査の精度向上と女性受診者の利便性向上に努めました。
X線ヘリカルCTの更新	被曝低減機能を搭載した最新式のX線ヘリカルCTへ更新を行い、薄いスライス厚での撮影を可能とし、健診精度の向上に努めました。

上部消化管内視鏡(胃カメラ)検査の充実	平成25年11月より毎週金曜日、経鼻上部消化管内視鏡(胃カメラ)検査を3ブースに拡充し(平成26年4月より週5日実施)、受診者の利便性向上に努めました。
検査機器の更新	乳部超音波診断装置、血圧脈波検査装置付心電計、尿定性装置の買い替え、免疫血清分析装置の更新を行い、健診精度の維持向上に努めました。
展示用フードモデルの更新	健診施設内展示のフードモデルを「塩分を多く含む食品」「1日の野菜摂取目安量」等、受診者の傾向に合わせたフードモデルに更新し、有効な情報提供および特定保健指導の充実に努めました。
乳癌検診パンフレット改定	「乳癌の自己検診」冊子を、マンモグラフィと超音波検査併用検診の有用性や両検査の特徴等を掲載した「よくわかる乳癌検診ガイド」に全面改定し、乳癌検診受診啓発に努めました。
男性検診衣のリニューアル	昨年度リニューアルした女性検査衣と同様、生地が厚く肌触りが良い検診衣にすることで、快適に受診できるよう配慮しました。
クレジットカード決済導入	窓口での健診受診料の支払の際、クレジットカード決済を可能とし、受診者の利便性の向上を図りました。
一般財団法人日本総合健診医学会の優良施設認定更新	平成26年3月末日で更新となる日本総合健診医学会の優良施設認定手続きを行い、引き続き優良施設としての認定を受けました。
聴力障害者無料健康診断の実施	平成26年2月8日に聴力障害の方を対象にした無料健康診断を実施しました。公益社団法人大阪聴力障害者協会・兵庫県聴覚障害者協会等を通じ告知を行い、多数の申込のうち73名(男性36名、女性37名)の方が受診されました。受診時のみならず、事前説明会、結果説明会も手話通訳つきで実施しました。この取組は16回を数え、これまでの延べ受診者は1178名にのぼっています。
介護家族の会会員への総合健診受診の優遇	親または配偶者の介護に携わる人は、自身の健康管理が疎かになりがちであるため、大阪府下の「介護家族の会」の会員で現に介護に携わっておられる方を対象に受診優遇を継続実施し、46名の方に受診いただきました(受診料10,000円)。

住友生命総合健診システムの運営を通じて得られる知見については、従来から学会等での発表を積極的に行っており、平成25年度については以下のとおりの実績となりました。学会発表のほか、多くの研修会、勉強会等にも積極的に参加し、最新医学情報の習得、健診技術の向上のため、職員の研鑽に注力しました。

第52回日本消化器がん検診学会総会	6月8日	仙台国際センター
超音波フォーラム 症例提示～腎細胞癌～ 長尾顕一		
第54回日本人間ドック学会学術大会	8月29日～30日	アクトシティ浜松
心電図(ECG)検査の自動解析結果を用いた緊急報告フローチャートの見直しについて 寺田博美、堀本葉子、北川智子、野田直子、大原郁美、本田笙子、久保満明		

マンモグラフィ(MMG)新規導入時事前アンケートと導入後の検査別受診状況についての検討 小出良江、寺田博美、岡田優子、小山平幸、長尾顕一、堀本葉子		
マンモグラフィ(MMG)・超音波(US)併用検診成績の検討 堀本葉子、宮脇美沙、神田恵美子、亀岡美幸、田中和美、川崎幸代、上田裕美子、中山由香、坂根恵梨子、長尾顕一		
第35回関西総合健診医学会懇話会	9月7日	ホテル・アゴーラリージェンシー堺
当システムの特定保健指導実施状況及び職員に対する指導成功例 鈴木聡子、北川智子、野田直子、奥山令子、寺田博美、本田笙子、久保満明、堀本葉子		
日本消化器がん検診学会近畿支部 第27回超音波研修会	9月28日	大阪市立総合医療センター
特別講演座長「胆膵診療における超音波内視鏡の意義」 堀本葉子(超音波研修会会長)		
一般演題座長 長尾顕一		
第23回日本乳癌検診学会総会	11月9日	京王プラザホテル
マンモグラフィ(MMG)・超音波(US)併用検診における要精査例に対する両検査判定の比較 亀岡美幸、神田恵美子、田中和美、川崎幸代、上田裕美子、中山由香、坂根恵梨子、長尾顕一、堀本葉子		
大阪府臨床検査技師会 生理検査部門 大阪超音波研究会	1月10日	住友病院14階講堂
グループ別発表「胸水・腹水について」 亀岡美幸、笹井恵		
第42回日本総合健診医学会	1月31日～2月1日	ホテルニューオータニ
座長(セッション: 腫瘍・その他) 堀本葉子		
マンモグラフィ(MMG)・超音波(US)併用検診の年齢群別、モダリティ別についての検討 堀本葉子、神田恵美子、亀岡美幸、田中和美、川崎幸代、上田裕美子、中山由香、寺田博美、長尾顕一		
特定保健指導における初年度の体重変化率とMetS関連データ変動についての検討 鈴木聡子、北川智子、野田直子、奥山令子、寺田博美、本田笙子、久保満明、堀本葉子		
日本消化器がん検診学会近畿支部 第28回超音波研修会	3月15日	大阪市立大学医学部4階大講義室
ベテラン超音波検査士が伝える超音波検査のコツ「腎臓」 長尾顕一		

2. 海外医学研究助成

日本国内の大学を卒業し、医学博士の資格を取得後、生活習慣病等の先端医療分野の研究を行うために海外の大学または学術研究機関に留学する若手研究者に対し、一人あたり150万円の研究助成を行いました。平成25年度は12大学、15名への助成を実施しました。

氏名	大学	留学先	専攻	研究課題
大矢 雄希	熊本	米 ヴァンダービルト大学	小児外科学・移植外科学	BMPシグナル阻害薬の肝再生促進への影響
仲谷 慎也	大阪 市立	米 ワシントン大学	代謝内分泌病態内科学	糖尿病性腎症における ephronectin の機能解析およびバイオマーカーとしての有用性の検討
荻原 建一	奈良県 立医科	加 クイーンズ大学	小児科	凝固第Ⅷ因子、フォン・ウィルブランド因子に関する分子遺伝学的解析、分子生物学的解析
井上 和則	大阪	米 エール大学	老年・腎臓内科学	糸球体上皮細胞の恒常性維持における endocytosis の役割
朝比奈 肇	北海道	米 ダナ・ファーマー癌研究所	内科 I	遺伝子改変マウスモデルを用いた非小細胞肺癌に対する分子標的薬剤耐性克服に関する研究
沼倉 一幸	秋田	米 ブリガム&ウィメンズ病院	腎泌尿器科学講座	進行性腎癌に対する mTOR 阻害剤 (temsiroimus) の効果を予測するバイオマーカーの探索
磯部 清志	東京医 科歯科	米 国立衛生研究所	腎臓内科	尿中プロテオミクスを用いた腎臓 Na、水再吸収制御機構の解明
加納 嘉人	東京医 科歯科	加 トロント大学	消化器内科	腫瘍内低酸素依存エリスロポエチン受容体発現制御に関わるPHD3の機能解析
荻野 崇之	大阪	独 マインツ大学	消化器外科学	腸管粘膜固有層に存在する自然免疫細胞の機能解析
田中 晃司	大阪	米 ペンシルバニア大学	消化器外科学	Notchシグナル伝達系による食道癌幹細胞の制御システムの解明
江口 隆	信州	米 スローンケタリング記念がんセンター	外科学講座	早期肺癌の臨床病理学的検討(増大・再発の危険因子と縮小手術の適応に関する研究)
國本 博義	慶應 義塾	米 スローンケタリング記念がんセンター	血液内科	TET2及びAIDを介した造血器腫瘍に共通するがん抑制機構の解明

南 晶洋	神戸	米 ハーバード大学	消化器内科学	アシルCoA チオエステラーゼによる肝脂質代謝とインスリン感受性調節機構の解明
小西 正紹	横浜 市立	独 シャリテ大学病院	循環器内科	心不全の病態における栄養、脂肪、鉄代謝及び骨格筋の関与
古賀 俊輔	千葉	米 メイヨークリニック	神経内科学	生活習慣病が神経変性に及ぼす影響:肥満とアルツハイマー病に着目して

3. 地域医療貢献奨励賞

自治医科大学の後援を得て、へき地等で長期にわたり地域医療に多大な貢献をされている医師を顕彰する「地域医療貢献奨励賞」は7年目を迎えました。平成25年度、全国の都道府県から推薦のあった医師の中から次の6名を選出し、平成26年2月8日に表彰式を行いました(副賞50万円)。

朝比奈 利明	山梨県南巨摩郡身延町 身延町早川町組合立飯富病院・院長
昭和58年自治医科大学卒。昭和62年6月から飯富病院の内科医として勤務、以来26年間地域医療に従事し、同病院での外来診療、病棟業務のみならず、同病院が多数配置している出張診療、また訪問診療、往診と昼夜を問わず、一貫して精力的に実施し、在宅医療、へき地医療の充実を図ってきた。平成8年4月に副院長に就任し、併設の介護老人保健施設との連携を強化し、さらに在宅ステーションを開設するなど、医療・介護・在宅とのネットワークを確立した。平成9年には同病院に透析施設の開設を行い、患者さんにとってより身近な医療提供に努め、平成22年4月院長に就任後は、へき地医療拠点病院の先頭に立ち、地域包括医療・ケア実現に取り組んでいる。新医師臨床研修制度における、地域保健・医療分野の研修については、県内随一の人数で初期研修医を受け入れ、また、医学部生にプライマリケアや地域包括医療・ケア、病院間の連携について、その豊富な経験と知識をもって教育を行っている。いまや同病院は山梨県内の地域医療のメッカと認識されるまでになっている。	
後藤 忠雄	岐阜県郡上市和良町 郡上市地域医療センター・センター長
平成元年自治医科大学卒。平成3年から延べ20年間岐阜県のほぼ中心に位置する旧和良村(現在郡上市和良町)の郡上市地域医療センター国保和良診療所に勤務し、へき地医療に従事している。平成16年の町村合併を機に、へき地の複数の診療所を地域医療を専門とする複数の総合医によって支え、管理運営する組織が必要であるとの考えを市幹部、議会に自ら説き、へき地医療機関を総括して管理運営する郡上市地域医療センターの立ち上げに尽力した。この試みは、これからのへき地医療を支えるモデルとして、県内の自治体から注目されている。センター長に就任してからは診療所群としての役割として、外来診療、一次医療、在宅医療をより重視し、特に医療過疎地の支援を行うとともに、保健福祉事業としての特定健診、特定高齢者把握も含めた介護保険事業の支援、老人保健施設の運営を行うなど、へき地における保健、医療、福祉を一体として推進した。加えて医学生や研修医の受入れ、高校生、医学生、看護学生を対象としたへき地医療研修会の実施といった医学教育事業や住民と地域医療を考える市民フォーラムの開催、意見交換を行う地域医療懇話会の実施などを積極的に企画し、幅広く精力的に活動している。	

高見 徹	鳥取県日野郡日南町 日南町国保日南病院・院長
昭和57年鳥取大学医学部卒。昭和60年から日南町(山村振興法、過疎地域自立促進特別措置法、豪雪地帯対策特別措置法の指定地域)に所在する日南町国民健康保険日南病院において地域医療に従事し、平成9年からは同病院の院長として、臨床の現場に立つ共に、医療、保健、福祉連携の地域包括医療・ケアに力を注ぎ、当県の地域医療の確保、住民の健康福祉の増進に尽力している。日南町は高齢化率が45パーセントを超え、日本の高齢化の30年先を行く高齢化社会を経験しており、このような状況を打開するために、日南病院では「地域自らが、地域の生活自立障害者を地域で支える力をつけること」を目的に、地域住民と医療・保健・福祉の関係者及び行政が連携した医療を、昭和57年から展開している。年間約2,000件行っている訪問診療には、院長自らも赴くなど、「各家庭は病院のベッド、町の道路は病院の廊下」を合い言葉に、病院職員と共に「出掛ける医療」を実践し、住み慣れた家で療養する多くの患者の生活を支えている。	
渡辺 俊晴	香川県高松市塩江町 高松市民病院塩江分院・院長
昭和54年自治医科大学卒。義務年限終了後も引き続き塩江病院内科に勤務し、また、副院長となつてからは病院のマネジメントだけでなく、塩江地域の医療の充実に努めた。平成25年1月、高松市と香川大学の協定締結により、高松市民病院塩江分院及び附属香川診療所をフィールドとする地域包括医療に係る研究や医学生・臨床研修医を対象とする教育・実習等を行う地域包括医療学講座を開設した。8月より、寄附講座による高松市民病院塩江分院等での医師の診療が本格的にはじまり、地域住民の安心・安全につながっている。平成25年度、地域住民との交流や愛着など、地域医療スピリットを学ぶ場を提供する「地域医療スピリット」を高松市民病院塩江分院及び保健センターを拠点に企画、開催した。また、自治医科大学、香川大学医学部附属病院地域医療教育支援センター、香川大学医学部寄附講座「地域包括医療学」との協力・連携のもと、医学生13名だけでなく、自治医科大学卒業医師や香川大学医学部医師を対象とした地域医療教育を実践した。	
菊池 良夫	愛媛県西予市宇和町 西予市立宇和病院・副院長
昭和59年自治医科大学卒。義務年限終了後、県南予地域のへき地に所在する西予市立宇和病院(へき地医療拠点病院)において約20年間一貫して地域医療に従事している。現在は、内科の診療をはじめ、救急医療への対応、老人福祉施設の嘱託医など幅広い業務に従事しつつ、副院長として院内をまとめ、高齢化率の高い地域の特性を踏まえて、患者それぞれの病状、社会環境に適した治療・看護・介護の実践に取り組んでいる。また、へき地医療拠点病院の医師として、周辺診療所の支援に努めるとともに、臨床研修明け3年目の医師等、将来の地域医療を担う若手医師の指導にも熱心に取り組むなど、地域医療の確保に大きく貢献しており、病院内外の医療関係者からの信頼も厚い。	

坪山 明寛

大分県豊後大野市清川町 社会医療法人関愛会清川診療所・所長

昭和48年鹿児島大学医学部卒。昭和59年に豊後大野地域に赴任後、29年にわたり地域医療に貢献している。この地域は、過疎化・高齢化の進んだ山村地域で、平成17年の市町村合併により新しく市が誕生したが、市内に大分県立三重病院、公立おがた総合病院の2つの公立病院があり、医師不足が深刻化する中、病院運営の維持が危惧される事態となった。平成8年から大分県立三重病院長として医師団を率い、二次救急医療機関や災害拠点病院、へき地医療拠点病院など、地域の中核病院として地域医療の充実と向上に努めていたが、このような危機的状況に直面し、公立おがた総合病院との統合を積極的に推進し、平成22年10月、豊後大野市民病院が誕生し、初代病院長に就任した。新病院では、地域で完結できる医療と地域に不足する医療を提供することをめざし、尽力した。また、教育研修環境を整備し、研修医や大分大学医学部学生を受入れるなど、将来の地域医療を担う医師の育成に積極的に取り組んだ。平成25年3月末、新病院の医師確保に一定の目途を立て、病院長職を退任し、現在は豊後大野市清川町の診療所長として、引き続き、地域医療に従事している。

Ⅱ 福祉事業【実施事業】

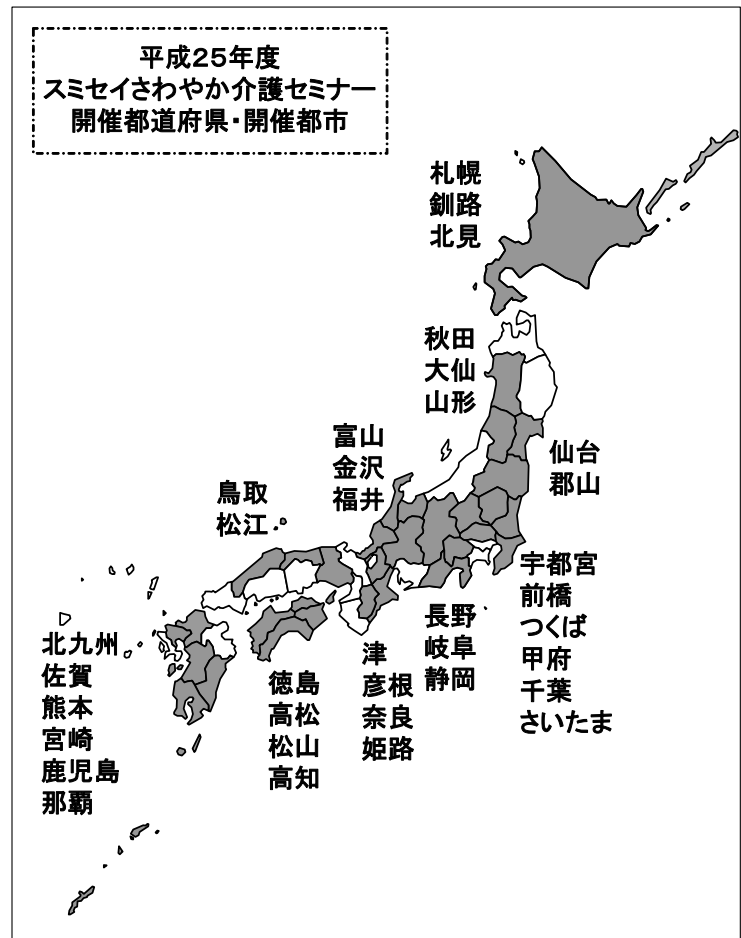
1. 「スミセイさわやか介護セミナー」

国の介護保険制度が始まる9年前、平成3年にスタートした「スミセイさわやか介護セミナー」は、全国各地の地元新聞社との共催、住友生命保険相互会社（開催地支社）の協賛により毎年開催し、好評のうちに回を重ねて23年を迎えました。

行政の変化等、介護を取り巻く状況の変化に則し、適宜セミナー内容の見直しを行い、家庭に要介護者を抱えた家族、介護の仕事に就く人、さらには一般の方々に、広く介護関係の知識・技術を伝える役割を担っています。また、平成25年度からは、健康に老後を迎えるという観点から、「健康」（特にがん予防）もテーマに取り入れました。

セミナーでは、専門家による介護保険制度に関わる情報提供、関心が高まる認知症に関わる予防および介護等に関する医療・介護関係者による講演、健康をテーマにした医療関係者による講演、著名人の体験を踏まえた講演、看護師・介護士等の専門職による移動・食事・排泄・メンタルケア等の実技指導など、多彩な内容を盛り込んだプログラムを提供しました。

平成25年度は全国36都市で開催し、参加者は延べ約8,300名に達しています。



2. 「ケアする人のケア」セミナー

財団法人たんぽぽの家との共催により、介護する側からの視点で問題提起を行うセミナーを毎年開催しています。平成25年度も「支え合いのコミュニティづくり」をテーマに、平成26年1月福岡市で開催しました。地元のNPO、研究者、施設管理者、医師などが講師・パネリストを務め、200名弱の参加者がありました。セミナーでは、地域での支え合いへの問題提起、パネルディスカッション、医・食・住の提案がなされ、終日にわたって問題を深掘りするとともに、交流会を通して参加者相互の情報交換に努めました。これをきっかけに地元で「ケアする人のケア」の必要性がより認識され、新たな活動の基点となることが期待されます。また、開催地の介護情報をまとめたハンドブックを製作し、参加者に配布するとともに一般への提供も行いました。

さらに、平成25年度は各地のユニークな支え合いの取り組みをサイトに集め、ケアや支え合いに関する情報のプラットフォームを目指す、提案型のウェブサイト「HELP ON HELP」を平成26年3月6日に

立ち上げました。

3. 遠距離介護セミナー

NPO法人パオッコとの共催により、東京(平成25年10月)、大阪(平成25年11月)で「離れて暮らす親の介護場所を考える」をテーマに、遠距離介護セミナーを開催しました。社会福祉士、ケアマネジャー、施設運営者、社会保険労務士による講演とディスカッションを行ない、問題解決に向けたヒントを探りました。また、遠距離介護体験者にも登壇いただき、ご自身の経験からのアドバイスをお話いただきました。さらに、今年度は札幌(平成25年10月)でもミニセミナーを開催しました。3会場で約200名の方が参加され、多くの質問もあり、充実したセミナーとなりました。

また、平成22年度に製作した、これまでのノウハウをまとめた情報冊子「遠距離介護 行動の3つの柱」を、「あなたの遠距離介護ノート」に改訂し、配布しました。

4. コミュニティケア活動支援

地域に密着したNPO等が「大きな福祉」実現に向け連携して取り組む活動を、コミュニティケア活動支援センター(コムケアセンター)を通じて支援しました。平成25年度も、重点テーマを「自殺のない社会づくり活動」と「高齢者支援活動」に設定し、活動の中心になるNPOやグループとの連携を強め、新しい動きに向け注力しました。またコムケア活動の広がりを生みだすためのサロン活動を継続し、様々な活動との関係を深め、やわらかなネットワーク組織発想を広げることに努めました。

平成25年度にコミュニティケア活動支援センターが取り組んだ事項は次のとおりです。

自殺のない社会づくり活動	「自殺のない社会づくりネットワーク・ささえあい」と連携して活動を推進しました。月1回開催のフォワードカフェ(交流会)をコムケアサロンと合流させる等コムケア活動との合体を模索しています。自殺問題の根底にある社会の在り方を考える「自殺に追い込まれることのない社会」づくりをテーマに「自殺」だけでなく「うつの問題」「家族の問題」「学校での福祉教育」「医療と自殺」等の問題を話し合うミニワークショップを8回開催しました。こうした準備を踏まえて、実行委員会を作り、3月から公開の連続ラウンドテーブルセッションをスタートさせました(3月に2回開催済)。
	「ネットワークささえあい・新潟」の活動支援、大阪の「あゆみあいネット」の活動拡大等地方での支え合いネットワーク作りに協力しました。

高齢者支援活動	NPO法人認知症予防ネット(京都)が注力しているスリーA方式の認知症予防ゲームの普及活動を支援しました。埼玉県と千葉県で定期的な公開フォーラムを開催し、茨城県での拠点もできました。コムケアセンターでもミニ体験サロンを開催しています。また、東北被災地でゲーム体験サロンを開催し、二本松、気仙沼、仙台などに広がりを見せています。ゲームリーダーもすでにかなり育っており、拡がりの速度は首都圏を上回る状況です。全国育児介護福祉協議会と共催し、体験会を開催(1月30日)、国際箸学会の「箸ピーゲーム」とのジョイントサロンも開催し、ゲームの普及を支援しました。
コムケアネットワーク活動	メーリングリスト(全国約600人程度参加)を中心に、「大きな福祉」の理念を共有する連携関係を深める一方、サロンや交流会で出会った活動や既存の活動への助言等の支援を行いました。その中で具体的な支え合いの仕組みを考える「支え合い共創サロン」を立ち上げました。大きな福祉(誰もが気持ちよく安心して暮らせる社会づくり)の一つの結節点となると考えています。

5. 子どものためのNPOとの協働事業

日本NPOセンターと児童健全育成推進財団が共催する「子どものための児童館とNPOの協働事業」に協賛し、児童館を舞台に子どもと多分野NPOの出会い創出を支援する活動は7年目となりました。公募型助成プログラムに変更後3年目にあたる平成25年度は、昨年度を上回る20都道府県(昨年度は17都道府県)から応募があり、25児童館・19プログラム(7館合同のプログラムあり)に支援しました。また、新たに熊本県での開催があり、過去に実施した地域と合わせると、これまでに21都道府県で開催したことになります。

平成25年度の採択プログラムの特徴は、①地域課題(ex.商店街の空き店舗活用)・社会問題(ex.災害時の対応)に対する取組みテーマの増加②児童館とNPOだけでなく第3者の巻き込み(商店街や自治会等)を意識したものの増加等が挙げられます。子どもが育つ地域環境の整備という本事業の取組みが、多くの関係者とともに、地域の活性化・地域との共存につながっています。

6. 自然環境学習につなげる子どもエコ俳句大賞

次代を担う好奇心旺盛な子どもの育成を支援するため、自然環境学習につなげる「第8回子どもエコ俳句大賞」を、NPO法人シニア自然大学校と協働して、近畿二府四県の小学生を対象に実施しました。平成25年度は応募63, 637句の中から特選3、準特選3、優秀賞40、優良賞60の合計106句を選出し、平成26年1月26日に大阪市立こども文化センターで受賞者・家族約400名が出席のもと表彰式を行いました。

特選、準特選は次のとおりです。

特選 (坪内稔典賞)	低学年	じいじいの いえまであるき かきごおり 獅子原 葵 大阪市 鶴見南小学校1年
	中学年	夏休み ぼくのおさがり 着たいとこ 大島 梨菜 姫路市 荒川小学校4年
	高学年	運動場 運動会の 足あとが 山田 うらら 姫路市 林田小学校6年
準特選	低学年	ぼくのいえ つばめあばーと かしだしちゅう 廣田 和真 東近江市 御園小学校1年
	中学年	すいかくん くろいひもつり どこ行くの 小林 朝咲 摂津市 味生小学校3年
	高学年	かぶりつく お日さまの味 夏野菜 藤本 真帆 姫路市 野里小学校6年

Ⅲ 音楽文化振興事業【実施事業(式典等の貸館を除く)】

平成25年度、いずみホールは年間30回の主催公演を開催しました。共催公演、貸館も含む公演数は222公演、年間の入場者総数は129,824人となりました。主催公演の入場者数は平均で648名(H24年度629名)を記録し、過去最高の平均入場者数となりました。減少傾向にあった貸館数もこの25年度は前年を上回りました。相変わらず、アマチュア団体の活動は活発で土・日の貸館はほぼ予約でいっぱいになっています。全体の平均入場者数も585名(H24年度552名)と前年に比べ大きく改善しました。

	平成25年度 ()は前年度		オープン以来	
	公演数	入場者数	公演数	入場者数
主催公演	30 (34)	19,447 (21,369)	900	534,022
共催公演	9 (12)	6,243 (6,813)		
貸館(一般公演)	167(167)	104,134 (95,551)	4,814	2,658,312
貸館(レコーディング、式典等)	16 (11)			
合計	222(224)	129,824(123,733)	5,714	3,192,334

(注)貸館(一般公演)には受託公演を含む。

平成25年度は「ウィーン音楽祭 in OSAKA」のあとを受け、これまで1年ごとにテーマを設定していました年間企画を、初めて3年間のシリーズとして企画しました。平成25年度から平成27年度まで、「モーツァルト～未来へ飛翔する精神」と題し、モーツァルトの20歳から35歳で亡くなるまでの15年間を5年毎に区切り、時代を追って彼の名曲を味わっていただくというものです。近年、好調の京都市交響楽団の久しぶりの起用や、なかなか上演の機会が少ないオペラ「イドメネオ」(演奏会形式)の上演、またウィーン・フィルのメンバーによる室内楽など多彩に開催しました。バッハ・アルヒーフ・ライブツィヒとの提携により7年かけて行う「バッハ・オルガン作品全曲演奏会」も2年目を迎えました。いずみホールオペラでは滅多に取り上げることがないヴェルディの「シモン・ボッカネグラ」を上演し、好評を博しました。そのほか現代音楽を積極的に紹介する「いずみシンフォニエッタ大阪」定期演奏会、定番シリーズとなっている「ランチタイム・コンサート」、有名アーティストによる「スペシャル・コンサート」「ミュージック・サブリ」「ミュージック・ステージ」「サマーヴァケーションコンサート」など、バラエティに富むラインアップで、多様なクラシック音楽ファンのニーズに応えました。

障害者をご招待する「夢コンサート」は11年目を迎えました。また、若年層のクラシック音楽ファンの育成・獲得に向けた取組であるユースシートも継続、大阪市音楽団と提携した音楽鑑賞会では大阪市の小学生約5,000人がいずみホールを訪れました。

全主催公演は次の内容です(公演日、標題、演奏者、主な演奏曲名、入場者数を記載)。

【モーツァルト～未来へ飛翔する精神(プレ企画＋全5公演)】

9/5 (木)	モーツァルト・プレ企画～レクチャー・コンサート 「モーツァルトのピアノ曲～楽器と作品～《学習する神童》 久元祐子(ピアノ) 礒山雅(解説)	615
10/31 (木)	I.「溢れ出る管弦楽の力」 京都市交響楽団、 広上淳一(指揮)、 泉原隆志(ヴァイオリン)、店村眞積(ヴィオラ) モーツァルト:協奏交響曲変ホ長調 K.364 モーツァルト:セレナード第9番 K.320「ポストホルン」	537
11/28 (木)	II.「パリの青春」 日本センチュリー交響楽団 金聖響(指揮)、福岡洸太郎(ピアノ)、 小山裕畿(フルート)、福井麻衣(ハープ) モーツァルト:ピアノ協奏曲第9番 K.271「ジュノム」 モーツァルト:フルートとハープのための協奏曲 K.299 ほか	646
12/6 (金)	III.「二重奏&ソロの光と影」 佐藤俊介(ヴァイオリン)、アンドレアス・シュタイアー(フォルテピアノ) モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ K.303、304、306、310 ほか	488
12/14 (土)	IV.「オペラで勝負する」 大勝秀也(指揮)、 福井敬(テノール)、林美智子(メゾ・ソプラノ)、幸田浩子(ソプラノ) ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団、関西二期会合唱団 ほか モーツァルト:オペラ「イドメネオ」K.366	766
1/11 (土)	V.「室内楽はのびやかに」 ライナー・キュッヒル(ヴァイオリン)ほかウィーン・フィルのメンバー 古部賢一(オーボエ)、木川博史(ホルン) モーツァルト:フルート四重奏曲 K.285 モーツァルト:オーボエ四重奏曲 K.370 モーツァルト:ディヴェルティメント第17番 K.334	635

【新・音楽の未来への旅シリーズ】

7/13 (土)	いずみシンフォニエッタ大阪 第31回定期演奏会～「吉松隆」 飯森範親(指揮)、新田幹男(トロンボーン)、 いずみシンフォニエッタ大阪 ニノ・ロータ:トロンボーン協奏曲 吉松隆:交響曲第6番「鳥と天使たち」 ほか	558
1/31 (金)	いずみシンフォニエッタ大阪 第32回定期演奏会～「邦楽器との響宴」 飯森範親(指揮)、藤原道山(尺八)、鶴澤清治(三味線)、 豊竹呂勢大夫(浄瑠璃)、天羽明恵(ソプラノ) 川島素晴:尺八協奏曲 猿谷紀郎、鶴澤清治:「三井の晩鐘」	690

【バッハ・オルガン作品全曲演奏会】

2/14 (金)	第3回 ビーネ・ブリンドルフ(オルガン) バッハ:プレリュードとフーガ ト長調 BWV541 幻想曲 ト長調 BWV572 ほか	538
3/21 (金)	第4回 デイヴィッド・ヒッグス(オルガン) バッハ:プレリュードとフーガ ヘ短調 BWV534 オルガン小曲集 ほか	736

【ランチタイム・コンサート (企画・構成、お話:日下部吉彦)】

6/25 (火)	ランチタイム・コンサートvol. 84 「村松稔之」 村松稔之(カウンターテノール)、藤江圭子(ピアノ) 高田三郎:くちなし 山田耕筰:かやの木山の／この道 R.ジチンスキー:ウィーン我が夢の町 ほか	740
10/15 (火)	ランチタイム・コンサートvol. 85 「菊本和昭」 菊本和昭(トランペット)、佐竹裕介(ピアノ) 京都トランペットグループ「Summer Breeze」 G. トレルリ:ソナタ ニ長調より Andante, Allegro F. J. ハイドン:トランペット協奏曲より第1楽章 ほか	659
12/10 (火)	ランチタイム・コンサートvol. 86 「小谷口直子」 小谷口直子(クラリネット)、白井圭(ヴァイオリン)、 西尾恵子(ヴァイオリン)、亀井宏子(ヴィオラ)、 伝田正則(チェロ)、塩見亮(ピアノ) ストラヴィンスキー:兵士の物語より ブラームス:クラリネット五重奏曲 ロ短調 作品115 ほか	605
2/4 (火)	ランチタイム・コンサートvol. 87 「晴雅彦+石橋栄美」 晴雅彦(バリトン)、石橋栄美(ソプラノ)、今岡淑子(ピアノ) ロジャーズ:『サウンド・オブ・ミュージック』より アンドリュウ・ロイド＝ウェバー:『オペラ座の怪人』より ほか	712

【ミュージック・ステージ】

5/29 (水)	宮川彬良&アンサンブル・ベガ F.デーレ:『すみれの花咲く部屋』 モーツァルト:『トルコ行進曲(ピアノソナタ K.331から)』 ヴェルディ:歌劇『椿姫』から「乾杯の歌」 ほか	632
8/10 (土)	Summer Vacation Concert ロザン(司会)、川瀬賢太郎(指揮)、大阪交響楽団 モーツァルト:《後宮からの逃走》序曲 K.384 マスカーニ:《カヴァレリア・ルスティカーナ》間奏曲 ほか	766

12/19 (木)	クリスマス・コンサート2013～ハッピータンゴアワー 須川展也(サクソフォン)、小松亮太(バンドネオン)、 奥村愛(ヴァイオリン)、田中伸司(コントラバス)、 松永裕平(ピアノ) ガーデ:ジェラシー ピアソラ:リベルタンゴ ほか	627
2/27 (木)	ベルリン・バロック・ゾリステン with エマヌエル・パユ(フルート) パッヘルベル: カノン ニ長調 J.S.バッハ:ブランデンブルク協奏曲 第5番 BWV1050 ほか	767

【小菅優 ベートーヴェン ピアノソナタ全曲演奏会】

9/18 (水)	小菅優ベートーヴェン・ピアノソナタ全曲演奏会 第6回 小菅優(ピアノ) ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第4番 変ホ長調 op.7 第22番 ヘ長調 op. 54 第23番 ヘ短調 op. 57「熱情」	582
-------------	--	-----

【いずみホールオペラ】

6/22 (土)	いずみホールオペラ「シモン・ボッカネグラ」 河原忠之(プロデュース・指揮)、堀内康雄(バリトン)、 尾崎比佐子(ソプラノ)、花月 真(バリトン)、 松本薫平(テノール)、青山 貴(テノール)、 萩原寛明(バリトン)、栗国淳(演出) ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団	702
-------------	--	-----

【その他公演】

4/11 (木)	若き名手たちによる室内楽の極み 長原幸太、西江辰郎(ヴァイオリン)、鈴木康浩、大島 亮(ヴィオラ)、 上森祥平、富岡廉太郎(チェロ) モーツァルト:ディヴェルティメント 変ホ長調 シェーンベルク:浄められた夜 op.4	444
5/15 (水)	東京クアルテット～THE FINAL ドビュッシー:弦楽四重奏曲 ト短調 作品10 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第14番 嬰ハ短調 作品131 ほか	680
6/7 (金)	いずみジャズナイト 小曾根真(ピアノ)&ゲイリー・バートン(ヴィブラホン)	784
7/26 (金)	ミュージック・サブリ Vol.8 NAOTO(ヴァイオリン)&清塚信也(ピアノ)	791

10/10 (木)	神尾真由子(ヴァイオリン)ホーヴァル・ギムセ(ピアノ)デュオ・リサイタル メトネル:「2つのおとぎ話」より 第1番 変ロ短調 ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ロ短調 プロコフィエフ:ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ニ長調 ほか	698
1/8 (水)	ALSOK PRESENTS いずみホール・ニューイヤー・コンサート2014 ウィーン・リング・アンサンブル J.シュトラウスⅡ:オペレッタ「ジプシー男爵」序曲 ヨーゼフ・シュトラウス:ワルツ「天体の音楽」 J.シュトラウスⅠ:アンネン・ポルカ ほか	713
3/12 (水)	アンドラーシュ・シフ ピアノリサイタル ベートーヴェン:ピアノソナタ第32番 ベートーヴェン:ディアベリの主催による33の変奏曲	771

【普及事業】

8/25 (日)	いずみこどもカレッジ2013～和太鼓ってかっこいい！ 舞太鼓あすか組	492
10/2 (水)	いずみホール夢コンサート 藤岡幸夫(指揮)、有希マヌエラ・ヤンケ(ヴァイオリン) 関西フィルハーモニー管弦楽団 ビゼー:《カルメン》より 前奏曲、「ハバネラ」 サラサーテ:《ツィゴイネルワイゼン》 ほか	714
2/13 (木)	いずみホール音楽講座 作曲家・西村朗が案内するクラシック音楽の愉しみ方Ⅳ 「管楽器～魅惑の領域」 西村朗(お話) いずみシンフォニエッタ大阪メンバー 安藤史子(フルート)、大島弥州夫(オーボエ)、 野々口義典(ホルン)、横田健徳(トランペット)、 碓山典子(ピアノ)	360

IV 財団組織運営に関する事項

1. 公益法人制度改革への対応

平成25年4月1日付で「一般財団法人住友生命福祉文化財団」に移行し、公益目的財産額は2,906,799,046円、公益目的支出計画の完了予定年月日は平成33年3月31日で、新法人としてスタートしました。

2. 理事会・評議員会開催状況

評議員会・理事会の開催実績は以下のとおり。

【評議員会】

定時 平成25年 6月19日

「平成24年度事業報告及び附属明細書」(報告事項)

「平成24年度計算書類等承認の件」

計算書類(貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)及び附属明細書)、
財産目録、キャッシュフロー計算書、収支計算書

「評議員選任の件」

「理事選任の件」

「公益目的財産額確定について」(報告事項)

【理事会】

第1回 平成25年 4月 1日 (決議省略)

「常務理事(業務執行理事)選定の件」

「常務理事の担当職務の件」

「使用人兼務の件」

「理事長(代表理事)代行順位の件」

第2回 平成25年 5月29日 (決議省略)

「平成24年度計算書類等承認の件」

事業報告及び附属明細書、計算書類(貸借対照表、損益計算書(正味財産増減
計算書)及び附属明細書)、財産目録、キャッシュフロー計算書、収支計算書

「平成25年度定時評議員会開催承認の件」

「大阪音楽大学との取引承認の件」

第3回 平成25年 6月19日

「常務理事(業務執行理事)選定の件」

「常務理事の担当職務承認の件」

「理事の使用人兼務承認の件」

「理事長代行順位承認の件」

「公益目的財産額確定について」(報告事項)

「職務執行状況について」(報告事項)

第4回 平成25年11月 6日（報告省略）

「平成25年 6月22日 大阪音楽大学との取引結果」(報告事項)

平成25年11月14日（決議省略）

「平成25年12月14日 大阪音楽大学との取引承認の件」

第5回 平成26年 3月20日

「平成26年度事業計画および予算承認の件」

「反社会的勢力対策規程改定承認の件」

「大阪音楽大学との出演契約締結承認の件」

「平成25年度職務執行状況(4月～1月)について」(報告事項)

「平成25年度大阪音楽大学との取引結果について」(報告事項)

「その他の報告事項」(報告事項)

3. 内部統制に関する報告

【内部統制に関する基本方針】(平成26年4月1日制定)

- (1) 理事及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
- (2) 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
- (3) 損失の危険の管理に関する規程
- (4) 理事の職務執行が効率的に行われることを確保するための体制
- (5) 監事とその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人及びその独立性に関する事項
- (6) 理事及び使用人が監事に報告するための体制その他の監事への報告に関する体制
- (7) その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

各規程に基づく報告事項は次頁のとおりですが、経営に重大な影響を与える事案、受益者等の利益が著しく阻害される事案等はありませんでした。

規程名	報告内容	H25年4月～H26年3月の状況
法令等遵守規程	コンプライアンスプログラムの遂行状況・達成状況	上期・下期にそれぞれ振り返りを実施。遂行状況・達成状況について問題なし。
	法令等遵守状況	法令等遵守状況について問題なし。
内部通報規程	内部通報制度で受け付けた通報・相談内容及び処理内容	内部通報制度で受け付けた通報・相談なし。
反社会的勢力対策規程	反社会的勢力への対応状況	反社会的勢力が関与する事案はなし。
受益者管理指針	相談・苦情等について	経営に重大な影響を与える、又は受益者の利益が著しく阻害されると判断される事案はなし。

受益者情報管理 規程	受益者情報の管理状況	受益者情報の管理状況について問題なし。
外部委託管理 規程	各委託元部署から集約 した外部委託管理の全社 状況その他の重要事項	外部委託管理規程および外部委託マニュアルに もとづいて年1回の委託先定期確認を実施済。 外部委託先管理において問題となる事項はなし。
リスク管理規程	リスクの状況等	経営に重大な影響を与えると判断される事案は なし。

4. 規程の改定

平成26年3月20日開催の第5回理事会において、「反社会的勢力対策規程」の改定を行ないました。

5. 役員・評議員の状況

平成25年度における役員等の異動は次のとおりです。

平成25年 4月 1日	理事	新任(補欠)	松本 貢一
平成25年 6月19日	評議員	辞任	中村 透
	評議員	新任(補欠)	橋本 雅博
	評議員	新任	藤本 宏樹
平成25年 6月31日	理事	辞任	松本 貢一
平成25年 7月 1日	理事	新任(補欠)	若林 昌憲
平成26年 3月31日	評議員	辞任	古川 俊之

評 議 員 名 簿

(平成26年3月31日現在)

評議員	小栗 まち絵	相愛大学音楽学部 教授・ヴァイオリニスト
評議員	川木 一正	曾根崎法律事務所 弁護士
評議員	斉藤 弥生	大阪大学大学院人間科学研究科 教授
評議員	中嶋 直躬	コクヨ株式会社 社友・元専務取締役
評議員	橋本 雅博	住友生命保険相互会社 代表取締役 専務執行役員
評議員	藤本 宏樹	住友生命保険相互会社 ブランドコミュニケーション部長
評議員	古川 俊之	国立病院機構大阪医療センター名誉院長・東京大学名誉教授

役 員 名 簿

(平成26年3月31日現在)

理事長	阿比野 裕	住友生命保険相互会社 常任顧問・元常務取締役
常務理事	篠原 照明	一般財団法人住友生命福祉文化財団 本部事務局長
常務理事	若林昌憲	一般財団法人住友生命福祉文化財団 いずみホール事業局長
理事	阿部 裕	大阪労災病院・国立病院機構大阪医療センター 名誉院長
理事	宇高 不可思	一般財団法人住友病院 副院長
理事	塩野 元三	塩野義製薬株式会社 代表取締役会長
理事	中村 孝義	学校法人大阪音楽大学 理事長
理事	堀本 葉子	一般財団法人住友生命福祉文化財団 住友生命総合健診システム 所長
理事	三野 哲治	住友ゴム工業株式会社 取締役会長
監事	上野 博明	上野博明事務所 公認会計士・税理士
監事	片山 登志子	片山・黒木・平泉法律事務所 弁護士

6. その他

附属明細書として、事業報告の内容を補足すべき重要事項はありません。

貸借対照表

平成26年 3月31日現在

(単位:円)

科 目					当年度	前年度	増 減
I 資産の部							
1. 流動資産							
現金	預	金			551,910,377	503,149,438	48,760,939
売掛	掛	金			468,400	229,800	238,600
未収	収	金			1,387,713	1,380,536	7,177
未収	収	金			158,745,710	149,894,403	8,851,307
前払	払	金			28,216	9,000	19,216
貯蓄	蔵	金			21,921,910	19,181,018	2,740,892
有価	替	証			99,990,000	149,987,100	-49,997,100
立金	費	金			0	13,202	-13,202
前払	費	金			6,561,413	8,145,817	-1,584,404
未収	還	付	法	人 税	1,452,939	0	1,452,939
未貸	倒	引	当	等	-12,680	0	-12,680
					842,453,998	831,990,314	10,463,684
2. 固定資産							
(1) 基本財産							
投資	有	価	証	券	690,002,974	690,103,809	-100,835
普通	通	預	金		11,039,350	11,039,350	0
基本財産合計					701,042,324	701,143,159	-100,835
(2) 特定資産							
退職	給	付	引	当	83,721,520	64,721,520	19,000,000
設備	更	新	引	資	150,055,950	149,992,800	63,150
特定資産合計					233,777,470	214,714,320	19,063,150
(3) その他固定資産							
建物	付	属	設	備	46,009,073	50,824,468	-4,815,395
構築	物	築	物	品	2,213,599	2,271,507	-57,908
什器	フ	ト	ウ	エ	208,388,317	225,722,417	-17,334,100
ソフトウェア	資	有	価	証	75,667,672	87,974,341	-12,306,669
投資	話	加	入	券	953,966,165	1,054,075,086	-100,108,921
電敷	期	前	払	費	432,000	432,000	0
敷金				金	4,652,000	4,652,000	0
長期					132,099	183,234	-51,135
その他固定資産合計					1,291,460,925	1,426,135,053	-134,674,128
固定資産合計					2,226,280,719	2,341,992,532	-115,711,813
資産合計					3,068,734,717	3,173,982,846	-105,248,129
II 負債の部							
1. 流動負債							
未払	払	費	金		69,652,216	45,797,761	23,854,455
未預	り	受	金		10,095,207	14,633,286	-4,538,079
前受	引	当	金		6,436,958	2,561,730	3,875,228
賞与	受	当	金		26,930,625	26,960,650	-30,025
未払	法	人	税		48,550,772	45,190,623	3,360,149
未払	消	費	税		120,000	120,000	0
流動負債合計					7,395,800	8,255,300	-859,500
2. 固定負債							
退職	給	付	引	当	169,181,578	143,519,350	25,662,228
固定負債合計					155,716,544	136,969,051	18,747,493
負債合計					155,716,544	136,969,051	18,747,493
III 正味財産の部							
1. 指定正味財産							
寄附	付	金			324,898,122	280,488,401	44,409,721
指定正味財産合計					699,710,999	699,809,619	-98,620
(うち基本財産への充当額)					699,710,999	699,809,619	-98,620
2. 一般正味財産							
(うち基本財産への充当額)					2,044,125,596	2,193,684,826	-149,559,230
(うち特定資産への充当額)					1,331,325	1,333,540	-2,215
正味財産合計					150,055,950	149,992,800	63,150
負債及び正味財産合計					2,743,836,595	2,893,494,445	-149,657,850
					3,068,734,717	3,173,982,846	-105,248,129

(注)実施事業資産は次のとおりである。

建物	3,247,308
構築物	2,213,599
什器備品	6,682,066
ソフトウェア	1,567,765
	13,710,738

正味財産増減計算書

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	7,153,455	7,129,951	23,504
特定資産運用収益	7,153,455	7,129,951	23,504
特定資産運用収益	54,300	1,111,956	-1,057,656
特定資産運用収益	54,300	1,111,956	-1,057,656
健康診断事業収益	1,293,437,442	1,290,939,436	2,498,006
健康診断事業収益	1,071,434,765	1,062,983,791	8,450,974
健康診断事業収益	222,002,677	227,955,645	-5,952,968
健康診断事業収益	36,230,000	25,680,000	10,550,000
健康診断事業収益	36,230,000	25,680,000	10,550,000
健康診断事業収益	385,000,000	385,000,000	0
健康診断事業収益	385,000,000	385,000,000	0
健康診断事業収益	11,942,398	13,733,257	-1,790,859
健康診断事業収益	10,981,662	11,846,892	-865,230
健康診断事業収益	960,736	1,886,365	-925,629
経常収益計	1,733,817,595	1,723,594,600	10,222,995
(2) 経常費用			
給付金	1,857,095,750	1,836,067,732	21,028,018
給付金	364,820,320	352,350,250	12,470,070
給付金	326,248,310	318,040,485	8,207,825
給付金	24,456,105	33,775,494	-9,319,389
給付金	89,209,657	75,702,487	13,507,170
給付金	13,478,202	11,388,397	2,089,805
給付金	31,834,311	32,145,206	-310,895
給付金	21,701,945	21,183,180	518,765
給付金	118,348,802	121,096,876	-2,748,074
給付金	2,276,791	951,836	1,324,955
給付金	17,009,247	11,735,918	5,273,329
給付金	140,180,840	141,904,412	-1,723,572
給付金	35,358,459	30,272,316	5,086,143
給付金	13,376,250	12,937,121	439,129
給付金	14,750,631	13,794,980	955,651
給付金	156,390,384	155,955,876	434,508
給付金	1,185,314	1,286,218	-100,904
給付金	4,278,978	4,305,474	-26,496
給付金	3,315,760	3,709,254	-393,494
給付金	16,065,263	15,939,114	126,149
給付金	1,582,812	1,538,772	44,040
給付金	25,500,000	25,500,000	0
給付金	220,410,401	213,976,490	6,433,911
給付金	12,680	0	12,680
給付金	6,436,262	12,058,958	-5,622,696
給付金	88,468,763	87,368,697	1,100,066
給付金	120,399,263	137,149,921	-16,750,658
給付金	25,404,383	19,386,177	6,018,206
給付金	2,600,000	0	2,600,000
給付金	10,272,275	7,547,990	2,724,285
給付金	107,388	113,499	-6,111
給付金	3,691,539	2,413,811	1,277,728
給付金	1,410	1,410	0
給付金	903,178	3,811,525	-2,908,347
給付金	57,731	75,186	-17,455
給付金	22,110	19,708	2,402
給付金	2,488	16,664	-14,176
給付金	85,965	35,410	50,555
給付金	14,665	4,983	9,682
給付金	511,615	406,314	105,301
給付金	60,347	59,586	761
給付金	571,074	612,016	-40,942
給付金	167,464	167,602	-138
給付金	1,382,907	1,458,107	-75,200
給付金	750,082	794,241	-44,159
給付金	2,797,620	394,267	2,403,353
給付金	200,125	198,022	2,103
給付金	120,000	220,000	-100,000
給付金	961,779	564,998	396,781
給付金	122,621	470,838	-348,217
経常費用計	1,882,500,133	1,855,453,909	27,046,224
評価損益等調整前当期経常増減額	-148,682,538	-131,859,309	-16,823,229
特定資産評価損益等	8,850	-7,200	16,050
投資有価証券評価損益等	16,600	50,700	-34,100
評価損益等計	25,450	43,500	-18,050
当期経常増減額	-148,657,088	-131,815,809	-16,841,279
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	902,142	2,167,982	-1,265,840
什器備品除却損	832,475	2,167,982	-1,335,507
ソフトウェア除却損	69,667	0	69,667
経常外費用計	902,142	2,167,982	-1,265,840
当期経常外増減額	-902,142	-2,167,982	1,265,840
当期一般正味財産増減額	-149,559,230	-133,983,791	-15,575,439
一般正味財産期首残高	2,193,684,826	2,327,668,617	-133,983,791
一般正味財産期末残高	2,044,125,596	2,193,684,826	-149,559,230
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用収益	7,037,246	7,013,742	23,504
基本財産運用収益	7,037,246	7,013,742	23,504
一般正味財産への振替額	-7,135,866	-7,112,362	-23,504
当期指定正味財産増減額	-98,620	-98,620	0
指定正味財産期首残高	699,809,619	699,908,239	-98,620
指定正味財産期末残高	699,710,999	699,809,619	-98,620
III 正味財産期末残高	2,743,836,595	2,893,494,445	-149,657,850

正味財産増減計算書内訳表

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業等会計				その他会計		法人会計	合 計
	福祉事業	音楽文化振興事業	小 計	予防医学振興事業	式典等貸館事業	小 計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	7,153,455	7,153,455
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	7,153,455	7,153,455
事業収益	0	0	0	54,300	0	54,300	0	54,300
健診事業収益	0	210,276,845	210,276,845	1,071,434,765	11,725,832	1,083,160,597	0	1,293,437,442
受取補助金等	0	0	0	1,071,434,765	0	1,071,434,765	0	1,071,434,765
受取寄付金	0	210,276,845	210,276,845	0	11,725,832	11,725,832	0	222,002,677
受取寄附金	0	36,230,000	36,230,000	0	0	0	0	36,230,000
受取利息	0	36,230,000	36,230,000	0	0	0	0	36,230,000
受取配当金	0	0	0	172,500,000	0	172,500,000	212,500,000	385,000,000
受取配当金	0	0	0	172,500,000	0	172,500,000	212,500,000	385,000,000
受取配当金	0	519,359	519,359	7,385,990	0	7,385,990	4,037,049	11,942,398
受取配当金	0	0	0	6,944,613	0	6,944,613	4,037,049	10,981,662
受取配当金	0	519,359	519,359	441,377	0	441,377	0	960,736
経常収益計	0	247,026,204	247,026,204	1,251,375,055	11,725,832	1,263,100,887	223,690,504	1,733,817,595
(2) 経常費用								
事業費用	153,104,859	427,937,929	581,042,788	1,263,747,830	12,305,132	1,276,052,962	0	1,857,095,750
給付金	12,830,879	103,315,984	116,146,863	247,236,274	1,437,183	248,673,457	0	364,820,320
臨時雇賃金	0	20,082,923	20,082,923	304,990,902	1,174,485	306,165,387	0	326,248,310
退職給付	214,777	4,132,075	4,346,852	20,046,328	62,925	20,109,253	0	24,456,105
福利厚生費	4,345,339	26,114,215	30,459,554	58,103,695	646,408	58,750,103	0	89,209,657
広報費	0	12,028,386	12,028,386	1,158,478	291,338	1,449,816	0	13,478,202
旅費	876,263	7,776,340	8,652,603	22,945,946	235,762	23,181,708	0	31,834,311
通運費	23,903	5,425,119	5,449,022	16,205,041	47,882	16,252,923	0	21,701,945
減価償却費	20,151	1,375,720	1,395,871	116,927,363	25,568	116,952,931	0	118,348,802
消耗什器備品	0	1,690,015	1,690,015	502,000	84,776	586,776	0	2,276,791
診療消耗品	99,760	5,309,736	5,409,496	11,370,399	229,352	11,599,751	0	17,009,247
印刷製本費	1,743	2,715,762	2,717,505	32,597,424	43,530	32,640,954	0	35,358,459
修繕費	0	6,228,152	6,228,152	7,109,466	38,632	7,148,098	0	13,376,250
光熱費	52,657	3,981,391	4,034,048	10,652,767	63,816	10,716,583	0	14,750,631
光賃保諸金	680,790	8,797,711	9,478,501	146,770,868	141,015	146,911,883	0	156,390,384
租税公課	1,244	728,522	729,766	403,065	52,483	455,548	0	1,185,314
支払負担金	0	4,241,628	4,241,628	37,350	0	37,350	0	4,278,978
委託料	328,530	1,673,712	2,002,242	1,307,868	5,650	1,313,518	0	3,315,760
支払手数料	6,648,524	2,356,896	9,005,420	7,046,149	13,694	7,059,843	0	16,065,263
支払手数料	0	540,462	540,462	1,033,687	8,663	1,042,350	0	1,582,812
支払手数料	0	0	0	25,500,000	0	25,500,000	0	25,500,000
支払手数料	126,950,299	4,869,459	131,819,758	88,580,526	10,117	88,590,643	0	220,410,401
倒引当金繰入	0	12,680	12,680	0	0	0	0	12,680
管理費	30,000	3,223,546	3,253,546	3,041,394	141,322	3,182,716	0	6,436,262
公費	0	82,546,989	82,546,989	0	5,921,774	5,921,774	0	88,468,763
役給	0	118,770,506	118,770,506	0	1,628,757	1,628,757	0	120,399,263
退職給付	0	0	0	0	0	0	25,404,383	25,404,383
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	2,600,000	2,600,000
広報費	0	0	0	0	0	0	10,272,275	10,272,275
旅費	0	0	0	0	0	0	107,388	107,388
通運費	0	0	0	0	0	0	3,691,539	3,691,539
減価償却費	0	0	0	0	0	0	1,410	1,410
消耗什器備品	0	0	0	0	0	0	903,178	903,178
診療消耗品	0	0	0	0	0	0	57,731	57,731
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	22,110	22,110
修繕費	0	0	0	0	0	0	2,488	2,488
光熱費	0	0	0	0	0	0	85,965	85,965
光賃保諸金	0	0	0	0	0	0	14,665	14,665
租税公課	0	0	0	0	0	0	511,615	511,615
支払負担金	0	0	0	0	0	0	60,347	60,347
委託料	0	0	0	0	0	0	571,074	571,074
支払手数料	0	0	0	0	0	0	167,464	167,464
支払手数料	0	0	0	0	0	0	1,382,907	1,382,907
支払手数料	0	0	0	0	0	0	750,082	750,082
支払手数料	0	0	0	0	0	0	2,797,620	2,797,620
支払手数料	0	0	0	0	0	0	200,125	200,125
支払手数料	0	0	0	0	0	0	120,000	120,000
支払手数料	0	0	0	0	0	0	961,779	961,779
支払手数料	0	0	0	0	0	0	122,621	122,621
経常費用計	153,104,859	427,937,929	581,042,788	1,263,747,830	12,305,132	1,276,052,962	25,404,383	1,882,500,133
評価損益等調整前当期経常増減額	-153,104,859	-180,911,725	-334,016,584	-12,372,775	-579,300	-12,952,075	198,286,121	-148,682,538
特定資産評価損益等	0	0	0	8,850	0	8,850	0	8,850
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	16,600	16,600
評価損益等計	0	0	0	8,850	0	8,850	16,600	25,450
当期経常増減額	-153,104,859	-180,911,725	-334,016,584	-12,363,925	-579,300	-12,943,225	198,302,721	-148,657,088
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	0	11,413	11,413	890,729	0	890,729	0	902,142
什器備品除却損	0	11,413	11,413	821,062	0	821,062	0	832,475
ソフトウェア除却損	0	0	0	69,667	0	69,667	0	69,667
経常外費用計	0	11,413	11,413	890,729	0	890,729	0	902,142
当期経常外増減額	0	-11,413	-11,413	-890,729	0	-890,729	0	-902,142
当期一般正味財産増減額	-153,104,859	-180,923,138	-334,027,997	-13,254,654	-579,300	-13,833,954	198,302,721	-149,559,230
一般正味財産期首残高	82,961,371	111,708,963	194,670,334	1,489,416,901	0	1,489,416,901	509,597,591	2,193,684,826
一般正味財産期末残高	-70,143,488	-69,214,175	-139,357,663	1,476,162,247	-579,300	1,475,582,947	707,900,312	2,044,125,596
II 指定正味財産増減の部								
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	7,037,246	7,037,246
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	7,037,246	7,037,246
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	-7,135,866	-7,135,866
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	-98,620	-98,620
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	699,809,619	699,809,619
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	699,710,999	699,710,999
III 正味財産期末残高	-70,143,488	-69,214,175	-139,357,663	1,476,162,247	-579,300	1,475,582,947	1,407,611,311	2,743,836,595

(注)平成25年4月1日に一般財団法人への移行登記を行ったが、認可された事業の区分に従い、福祉事業および音楽文化振興事業を実施事業等会計に、予防医学振興事業および式典等貸館事業をその他会計にしている。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)によっている。
満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外のその他の有価証券
・・・期末日の市場価格等に基づく時価法

(2) 棚卸資産の評価基準および評価方法

貯蔵品・・・個別法による原価法によっている。

(3) 有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法

定額法によっている。(耐用年数および残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)

(4) 無形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法

定額法によっている。(耐用年数および残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)

(5) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、退職一時金については当事業年度末における自己都合要支給額に相当する金額、退職年金については年金の将来支給予定額を現在価値に割引いた金額を計上している。

なお、会計基準変更時差異については、15年による按分額を費用処理している。

賞与引当金・・・・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(6) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

2. 基本財産および特定資産の増減額およびその残高

基本財産および特定資産の増減額およびその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	690,103,809	0	100,835	690,002,974
預金	11,039,350	0	0	11,039,350
小 計	701,143,159	0	100,835	701,042,324
特定資産				
退職給付引当資産	64,721,520	19,000,000	0	83,721,520
設備更新引当資産	149,992,800	150,008,850	149,945,700	150,055,950
小 計	214,714,320	169,008,850	149,945,700	233,777,470
合 計	915,857,479	169,008,850	150,046,535	934,819,794

3. 基本財産および特定資産の財源等の内訳

基本財産および特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	690,002,974	688,671,649	1,331,325	0
預金	11,039,350	11,039,350	0	0
小 計	701,042,324	699,710,999	1,331,325	0
特定資産				
退職給付引当資産	83,721,520	0	0	83,721,520
設備更新引当資産	150,055,950	0	150,055,950	0
小 計	233,777,470	0	150,055,950	83,721,520
合 計	934,819,794	699,710,999	151,387,275	83,721,520

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	640,204,938	594,195,865	46,009,073
構築物	2,797,498	583,899	2,213,599
什器備品	657,717,208	449,328,891	208,388,317
ソフトウェア	138,937,916	63,270,244	75,667,672
合 計	1,439,657,560	1,107,378,899	332,278,661

5. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価格、時価および評価損益

満期保有目的の債権の内訳ならびに帳簿価格、時価および評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価格	時 価	評価損益
国 債	1,643,969,139	1,695,341,944	51,372,805
合 計	1,643,969,139	1,695,341,944	51,372,805

6. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高

補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
寄付金						
基本財産充当寄付金	住友生命保険相互会社	699,809,619	0	98,620	699,710,999	指定正味財産
平成25年度寄付金	住友生命保険相互会社	0	385,000,000	385,000,000	0	一般正味財産
助成金						
平成25年度文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等活性化事業)	文化庁	0	34,730,000	34,730,000	0	一般正味財産
いずみシンフォニエッタ公演助成金	公益財団法人花王芸術・科学財団	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
いずみシンフォニエッタ公演助成金	公益財団法人野村財団	0	600,000	600,000	0	一般正味財産
いずみホールオペラ「シモン・ボッカネグラ」公演助成金	公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団	0	400,000	400,000	0	一般正味財産
合 計		699,809,619	421,230,000	421,328,620	699,710,999	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息振替額	7,135,866
合 計	7,135,866

8. その他

(1) 退職給付関係

①採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金および退職年金制度を設けている。

②退職給付債務およびその内訳 (単位:円)

退職給付債務	-200,730,000
会計基準変更時差異の未処理額	45,013,456
退職給付引当金	-155,716,544

③退職給付費用に関する事項 (単位:円)

勤務費用	18,133,000
会計基準変更時差異の費用処理額	6,430,493
退職給付費用	24,563,493

④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職一時金制度に基づく期末の自己都合要支給額および退職年金制度に基づく将来支給予定額を現在価値に割り引いた金額を計算の基礎としている。

⑤会計基準変更時差異の処理年数

15年

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細書

財務諸表に対する注記に記載しており、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細書

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞 与 引 当 金	45,190,623	48,550,772	45,190,623	0	48,550,772
貸 倒 引 当 金	0	12,680	0	0	12,680
退職給付引当金	136,969,051	24,563,493	5,816,000	0	155,716,544

予算対比正味財産増減計算書(参考資料)

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産の運用収益	7,138,000	7,153,455	-15,455
特定資産の運用収益	7,138,000	7,153,455	-15,455
特定資産の運用収益	90,000	54,300	35,700
特定資産の運用収益	90,000	54,300	35,700
健康増進事業の補助金収入	1,295,538,000	1,293,437,442	2,100,558
健康増進事業の補助金収入	1,080,815,000	1,071,434,765	9,380,235
健康増進事業の補助金収入	214,723,000	222,002,677	-7,279,677
健康増進事業の補助金収入	24,100,000	36,230,000	-12,130,000
健康増進事業の補助金収入	24,100,000	36,230,000	-12,130,000
健康増進事業の補助金収入	385,000,000	385,000,000	0
健康増進事業の補助金収入	385,000,000	385,000,000	0
健康増進事業の補助金収入	14,329,000	11,942,398	2,386,602
健康増進事業の補助金収入	14,029,000	10,981,662	3,047,338
健康増進事業の補助金収入	300,000	960,736	-660,736
経常収益計	1,726,195,000	1,733,817,595	-7,622,595
(2) 経常費用			
給与手当	1,857,671,000	1,857,095,750	575,250
臨時雇員の賃金	361,820,000	364,820,320	-3,000,320
退職給付	325,743,000	326,248,310	-505,310
退職給付	22,000,000	24,456,105	-2,456,105
退職給付	81,051,000	89,209,657	-8,158,657
退職給付	13,123,000	13,478,202	-355,202
退職給付	34,589,000	31,834,311	2,754,689
退職給付	21,712,000	21,701,945	10,055
退職給付	133,150,000	118,348,802	14,801,198
退職給付	2,790,000	2,276,791	513,209
退職給付	8,266,000	17,009,247	-8,743,247
退職給付	141,659,000	140,180,840	1,478,160
退職給付	23,798,000	35,358,459	-11,560,459
退職給付	12,208,000	13,376,250	-1,168,250
退職給付	14,242,000	14,750,631	-508,631
退職給付	156,359,000	156,390,384	-31,384
退職給付	1,330,000	1,185,314	144,686
退職給付	4,250,000	4,278,978	-28,978
退職給付	6,331,000	3,315,760	3,015,240
退職給付	16,554,000	16,065,263	488,737
退職給付	1,734,000	1,582,812	151,188
退職給付	30,000,000	25,500,000	4,500,000
退職給付	226,165,000	220,410,401	5,754,599
退職給付	0	12,680	-12,680
退職給付	4,823,000	6,436,262	-1,613,262
退職給付	90,065,000	88,468,763	1,596,237
退職給付	123,909,000	120,399,263	3,509,737
退職給付	23,963,000	25,404,383	-1,441,383
退職給付	2,300,000	2,600,000	-300,000
退職給付	10,037,000	10,272,275	-235,275
退職給付	73,000	107,388	-34,388
退職給付	3,338,000	3,691,539	-353,539
退職給付	50,000	1,410	48,590
退職給付	2,285,000	903,178	1,381,822
退職給付	78,000	57,731	20,269
退職給付	55,000	22,110	32,890
退職給付	22,000	2,488	19,512
退職給付	41,000	85,965	-44,965
退職給付	9,000	14,665	-5,665
退職給付	600,000	511,615	88,385
退職給付	58,000	60,347	-2,347
退職給付	572,000	571,074	926
退職給付	1,000	167,464	-166,464
退職給付	1,520,000	1,382,907	137,093
退職給付	912,000	750,082	161,918
退職給付	134,000	2,797,620	-2,663,620
退職給付	3,000	200,125	-197,125
退職給付	0	120,000	-120,000
退職給付	868,000	961,779	-93,779
退職給付	1,007,000	122,621	884,379
経常費用計	1,881,634,000	1,882,500,133	-866,133
評価損益等調整前当期経常増減額	-155,439,000	-148,682,538	-6,756,462
特定資産の評価損益等	0	8,850	-8,850
投資有価証券の評価損益等	0	16,600	-16,600
評価損益等計	0	25,450	-25,450
当期経常増減額	-155,439,000	-148,657,088	-6,781,912
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産の除却損	0	902,142	-902,142
什器備品の除却損	0	832,475	-832,475
ソフトウェアの除却損	0	69,667	-69,667
経常外費用計	0	902,142	-902,142
当期経常外増減額	0	-902,142	902,142
当期一般正味財産増減額	-155,439,000	-149,559,230	-5,879,770
一般正味財産期首残高	2,207,745,000	2,193,684,826	14,060,174
一般正味財産期末残高	2,052,306,000	2,044,125,596	8,180,404
II 指定正味財産増減の部			
基本財産の運用収益	7,022,000	7,037,246	-15,246
基本財産の運用収益	7,022,000	7,037,246	-15,246
一般正味財産への振替額	-7,120,000	-7,135,866	15,866
当期指定正味財産増減額	-98,000	-98,620	620
指定正味財産期首残高	699,807,000	699,809,619	-2,619
指定正味財産期末残高	699,709,000	699,710,999	-1,999
III 正味財産期末残高	2,752,015,000	2,743,836,595	8,178,405

設備投資額

予算額; 135,850,000

決算額; 84,758,982

財産目録（参考資料）

平成26年 3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		内容・備考	金 額
(流動資産)	現金	手元保管（予防医学振興事業） 手元保管（音楽文化振興事業）	1,593,373 1,382,286 211,087
	預金	普通預金 三井住友銀行（予防医学振興事業） 三井住友信託銀行（予防医学振興事業） みずほ銀行（予防医学振興事業） 三菱東京UFJ銀行（予防医学振興事業） 三井住友銀行（福祉事業） 近畿大阪銀行（音楽文化振興事業） 近畿大阪銀行（音楽文化振興事業） 近畿大阪銀行（音楽文化振興事業） 三菱東京UFJ銀行（音楽文化振興事業） 三井住友銀行（音楽文化振興事業） 三井住友銀行（音楽文化振興事業） ゆうちょ銀行（音楽文化振興事業） 三井住友銀行（法人会計）	549,317,004 125,416,645 5,888,454 3,005,659 100,412,606 22,086,870 108,882,411 13,107,475 8,047,047 1,133,322 2,179,926 15,000,000 984,540 143,172,049
		定期預金 三井住友銀行（予防医学振興事業）	1,000,000 1,000,000
	売掛金		468,400
	未収収益		1,387,713
	未収金		158,745,710
		予防医学振興事業－健診事業未収金 音楽文化振興事業未収金 式典等貸館事業未収金	119,915,829 38,667,131 162,750
	前払金		28,216
	貯蔵品		21,921,910
		予防医学振興事業－健診事業貯蔵品 福祉事業貯蔵品 音楽文化振興事業貯蔵品	19,554,212 5,880 2,361,818
	有価証券		99,990,000
		第375回国庫短期証券（法人会計）	99,990,000
	立替金		0
	前払費用		6,561,413
		予防医学振興事業－健診事業前払費用 音楽文化振興事業前払費用	1,233,942 5,327,471
	未収還付法人税等		1,452,939
	貸倒引当金		-12,680
流動資産合計			842,453,998
(固定資産)	基本財産		701,042,324
	投資有価証券		690,002,974
		第41回利付国債（法人会計） 第319回利付国債（法人会計） 第311回利付国債（法人会計） 第61回利付国債（法人会計） 第305回利付国債（法人会計）	80,671,200 197,254,460 257,174,697 97,978,464 56,924,153
	普通預金		11,039,350
		三菱東京UFJ銀行（法人会計）	11,039,350
	特定資産		233,777,470
	退職給付引当資産		83,721,520
		三菱東京UFJ銀行（予防医学振興事業） 近畿大阪銀行（音楽文化振興事業）	67,721,520 16,000,000
	設備更新引当資産		150,055,950
		三菱東京UFJ銀行（予防医学振興事業） 第411回国庫短期証券（予防医学振興事業）	84,600 149,971,350
	その他固定資産		1,291,460,925
	建物付属設備		46,009,073
	構築物		2,213,599
	什器備品		208,388,317
	ソフトウェア		75,667,672
	投資有価証券		953,966,165
		第278回利付国債（予防医学振興事業） 第290回利付国債（予防医学振興事業） 第321回利付国債（予防医学振興事業） 第102回利付国債（予防医学振興事業） 第100回利付国債（法人会計） 第307回利付国債（法人会計） 第268回利付国債（法人会計） 第61回利付国債（法人会計）	300,000,000 100,532,000 100,000,000 100,464,000 39,009,127 68,999,775 200,069,600 44,891,663
	電話加入権		432,000
	敷金		4,652,000
	長期前払費用		132,099
固定資産合計			2,226,280,719
資産合計			3,068,734,717
(流動負債)	未払金		69,652,216
		予防医学振興事業－健診事業未払金 福祉事業－介護セミナー会食代未払金 音楽文化振興事業未払金 法人会計職員立替費用未払金	60,303,553 15,000 9,332,613 1,050
	未払費用		10,095,207
		予防医学振興事業－健診事業未払費用 音楽文化振興事業未払費用	7,326,746 2,768,461
	預り金		6,436,958
	前受金		26,930,625
		音楽文化振興事業前受金 式典等貸館事業前受金	26,200,875 729,750
	賞与引当金		48,550,772
		予防医学振興事業－健診事業賞与引当金 音楽文化振興事業賞与引当金	36,342,656 12,208,116
	未払法人税等		120,000
	未払消費税等		7,395,800
流動負債合計			169,181,578
(固定負債)	退職給付引当金		155,716,544
		予防医学振興事業－健診事業退職給付引当金 音楽文化振興事業退職給付引当金	110,151,544 45,565,000
固定負債合計			155,716,544
負債合計			324,898,122
正味財産			2,743,836,595

監 査 報 告

平成 2 6 年 5 月 2 3 日

一般財団法人住友生命福祉文化財団

理事長 阿比野 裕 殿

監事 上 野 博 明 ㊟

監事 片 山 登 志 子 ㊟

私たち監事は、平成 2 5 年 4 月 1 日から平成 2 6 年 3 月 3 1 日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

（3）公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上